

2023年2Q 熊本県宿泊旅行統計調査（00.熊本県全体）

1. 動向

2023年4-6月の延べ宿泊者数（全体）は「1,906,750人」、前年同期比で「+29.8%」でした。

日本人延べ宿泊者数は「1,680,830人」、前年同期比で「+15.1%」でした。

外国人延べ宿泊者数は「225,920人」、前年同期比で「+2,275.6%」でした。

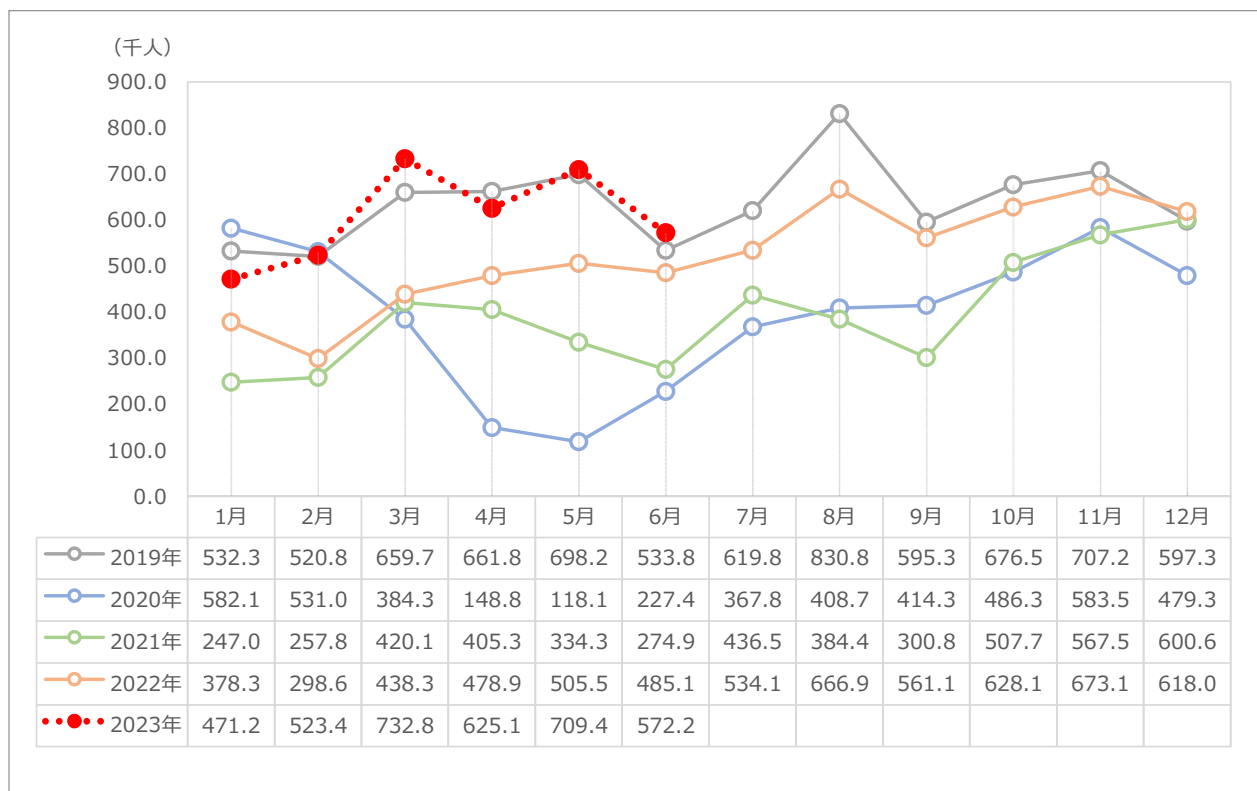
2. 延べ宿泊者数

総数：	1,906,750	人	（前年比： + 29.8 %）
4月：	625,140	人	（前年比： + 30.5 %）
5月：	709,420	人	（前年比： + 40.3 %）
6月：	572,190	人	（前年比： + 18.0 %）

※前年比・・・2022年2Qとの比較

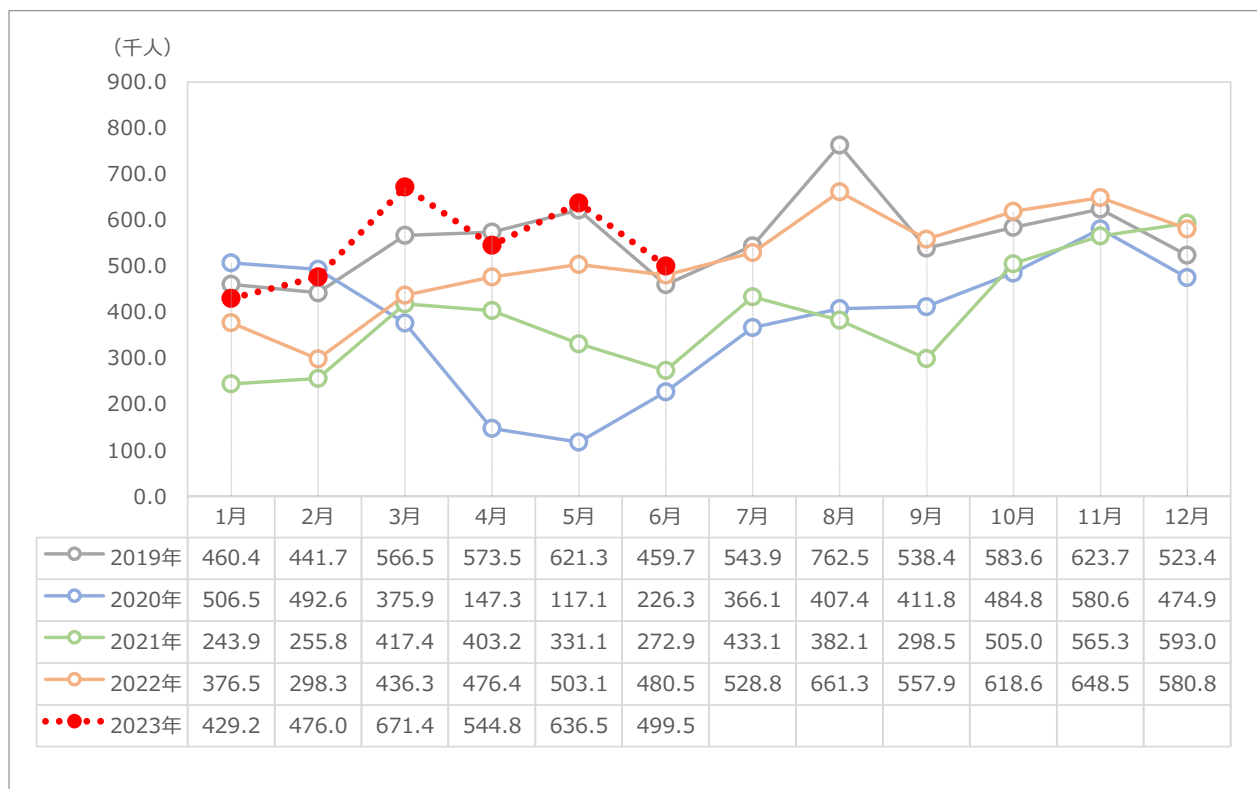
3. 推移

① 延べ宿泊者数（全体）

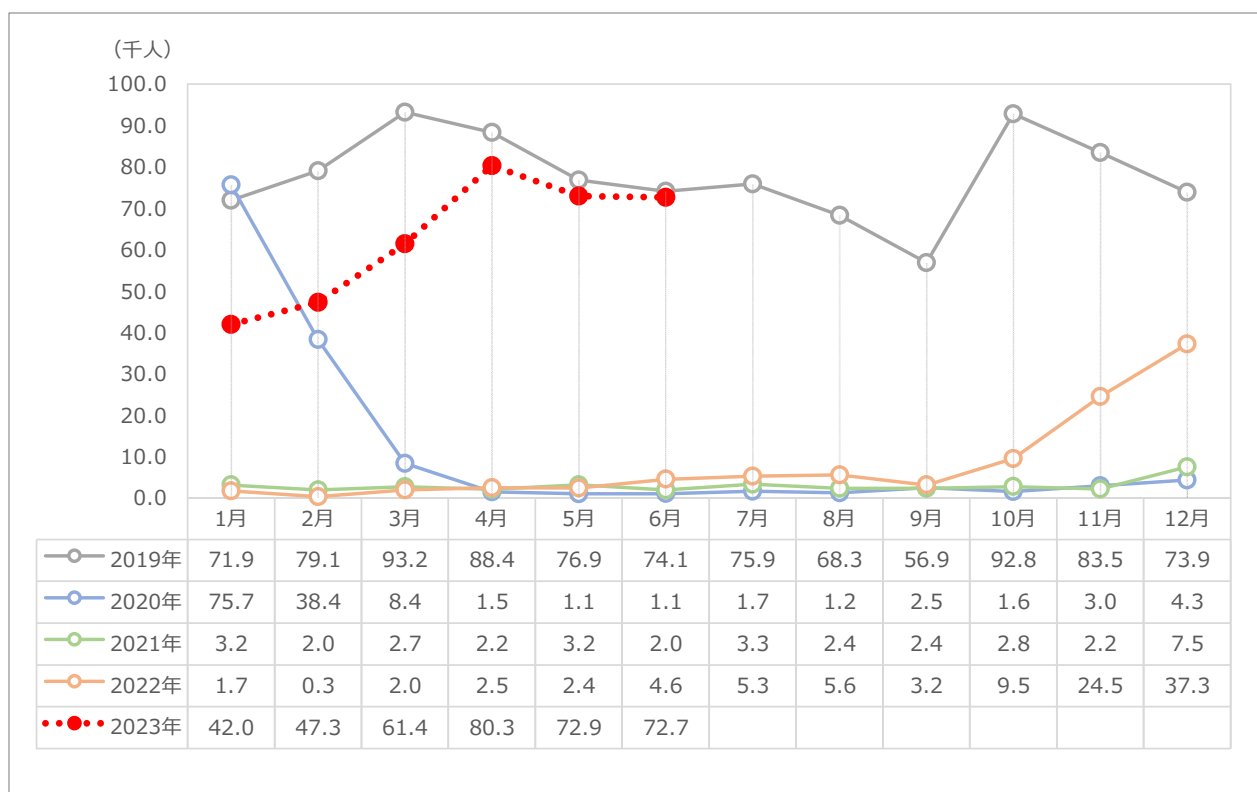


2023年2Q 熊本県宿泊旅行統計調査（00.熊本県全体）

② 日本人延べ宿泊者数

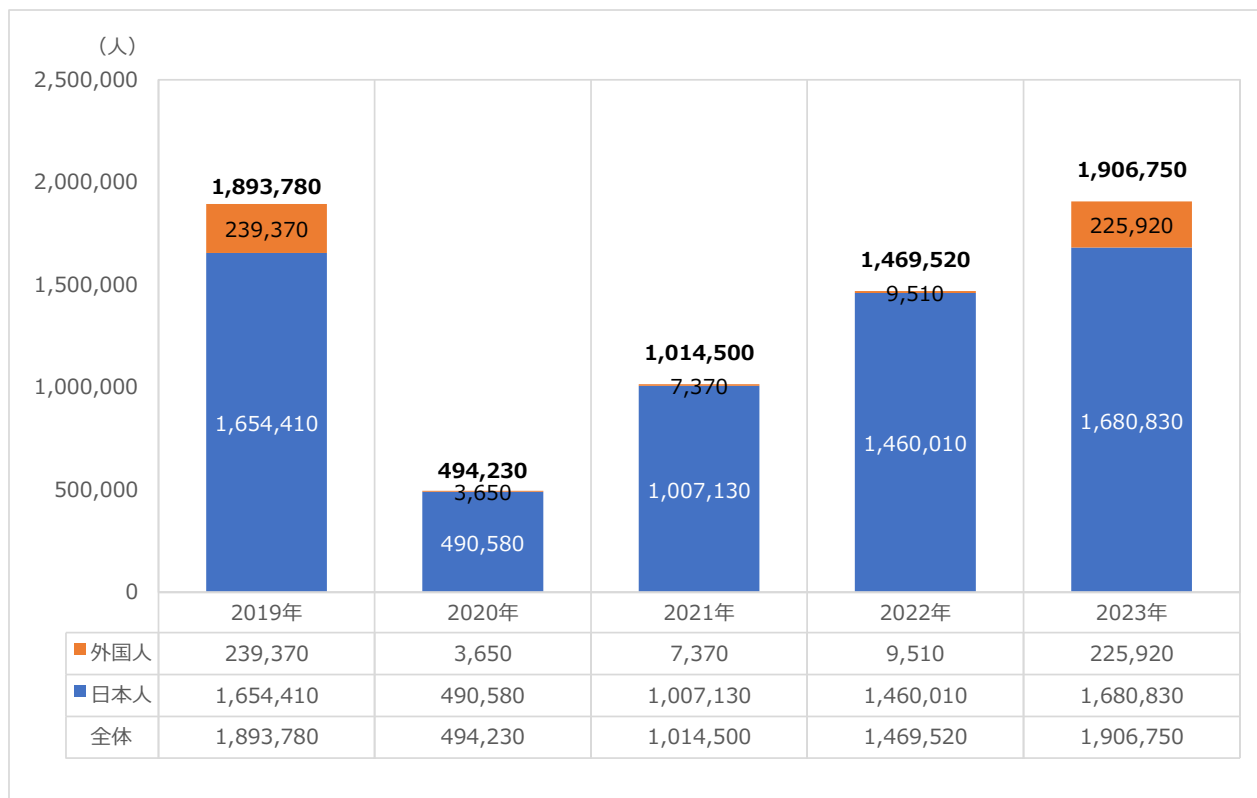


③ 外国人延べ宿泊者数

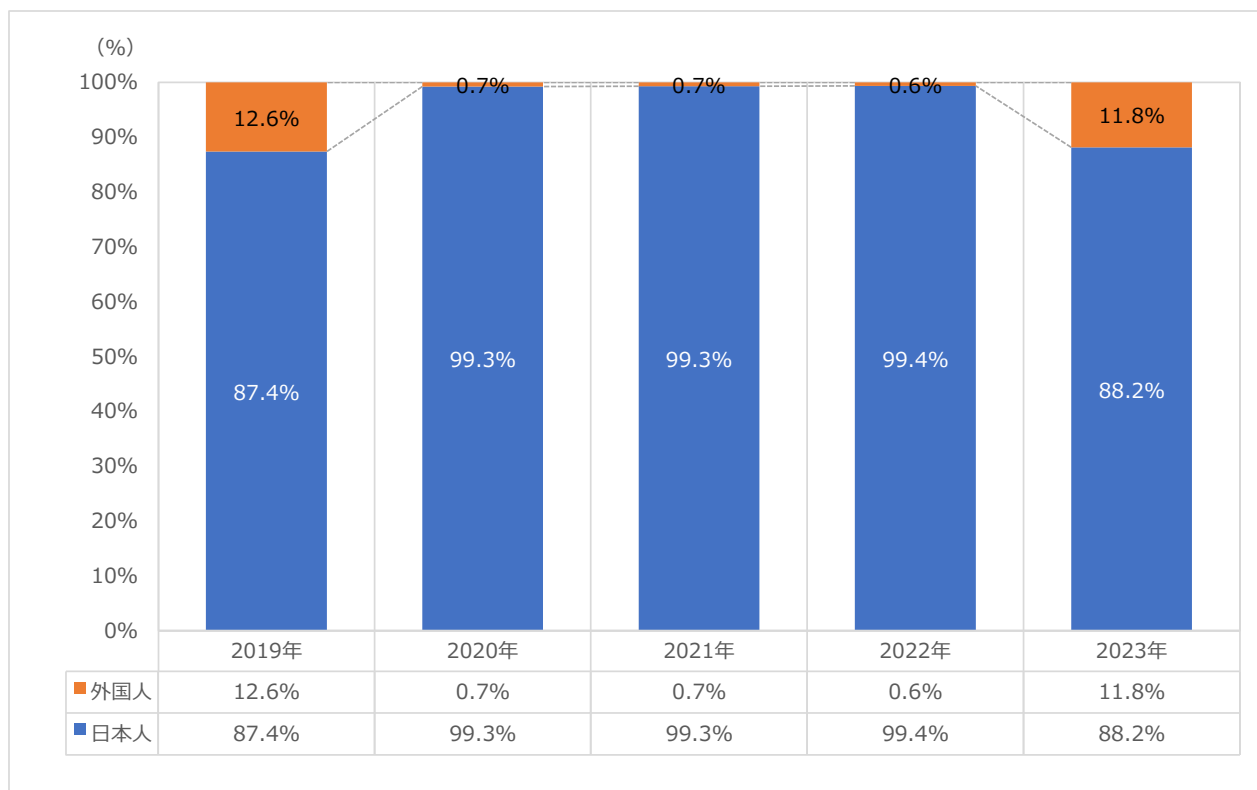


2023年2Q 熊本県宿泊旅行統計調査（00.熊本県全体）

4. 日本人・外国人別宿泊者数



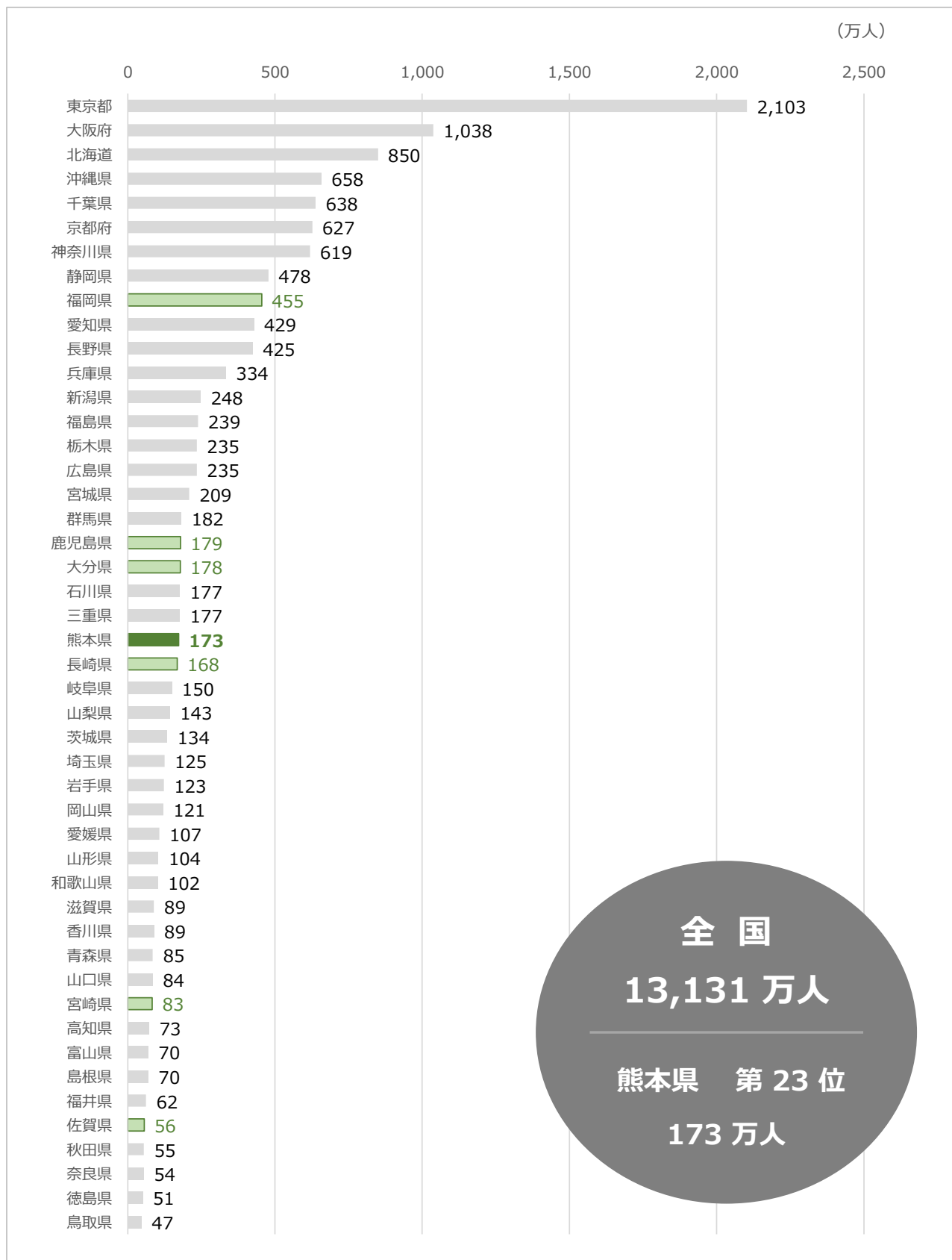
5. 日本人・外国人別割合



2023年2Q 熊本県宿泊旅行統計調査（00.熊本県全体）

6. 都道府県別延べ宿泊者数

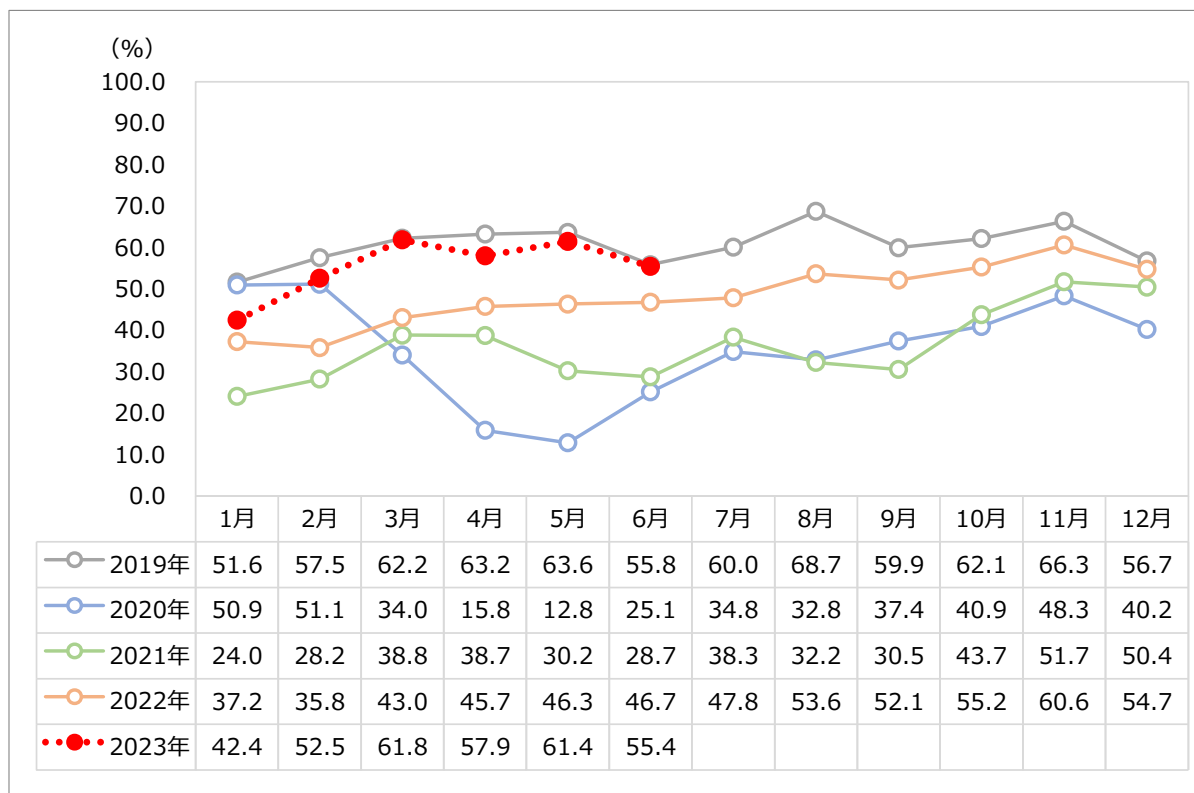
※熊本県および九州各県（沖縄県を除く）は強調色を採用



2023年2Q 熊本県宿泊旅行統計調査（00.熊本県全体）

7. 客室稼働率

① 推移



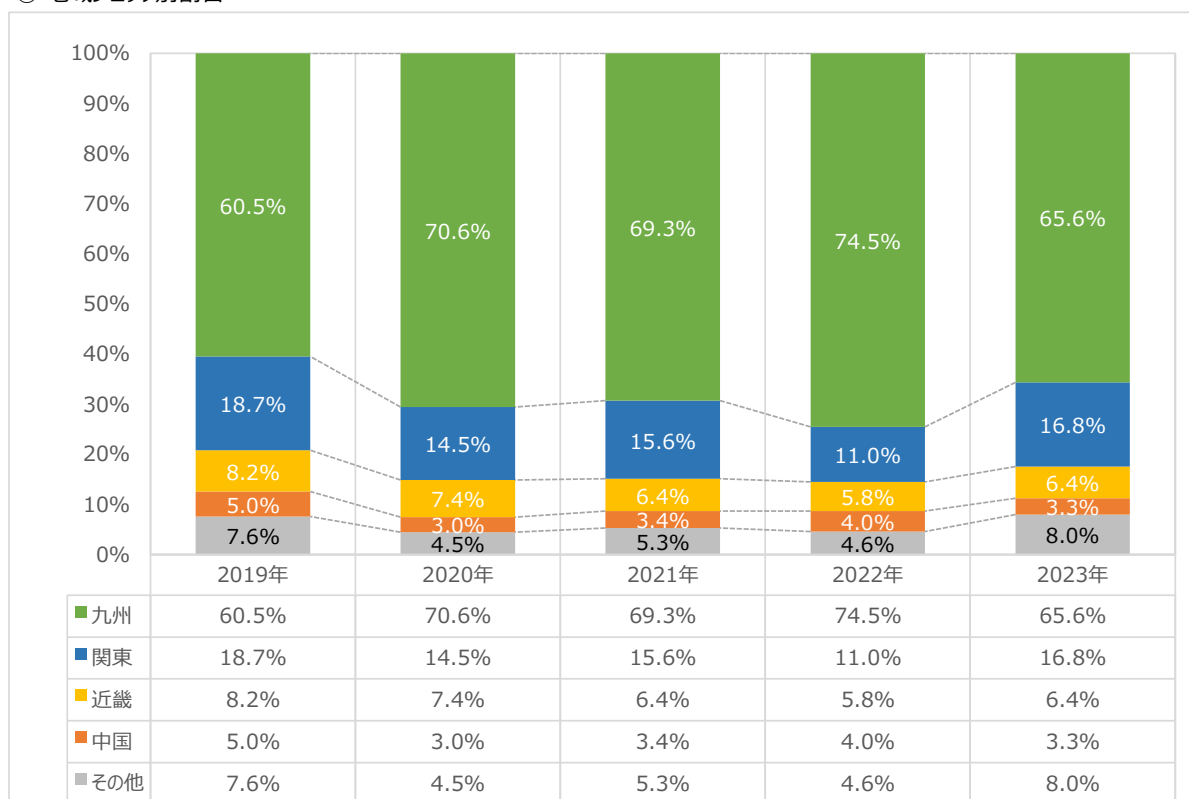
① 施設別稼働率

施設	2022年			2023年		
	4月	5月	6月	4月	5月	6月
全体	45.7%	46.3%	46.7%	57.9%	61.4%	55.4%
旅館	33.5%	38.3%	34.1%	40.5%	47.5%	37.3%
リゾートホテル	28.6%	35.7%	31.1%	44.0%	53.3%	45.6%
ビジネスホテル	59.6%	58.9%	61.2%	76.2%	77.8%	75.3%
シティホテル	48.0%	43.4%	49.2%	64.5%	75.8%	68.9%
簡易宿所	20.7%	15.8%	9.9%	31.2%	21.5%	13.4%
会社・団体の宿泊所	29.4%	32.1%	58.7%	29.4%	22.6%	25.5%

2023年2Q 熊本県宿泊旅行統計調査（00.熊本県全体）

8. 国内発地別延べ宿泊客数（従業者数100人以上の施設）

① 地域ブロック別割合

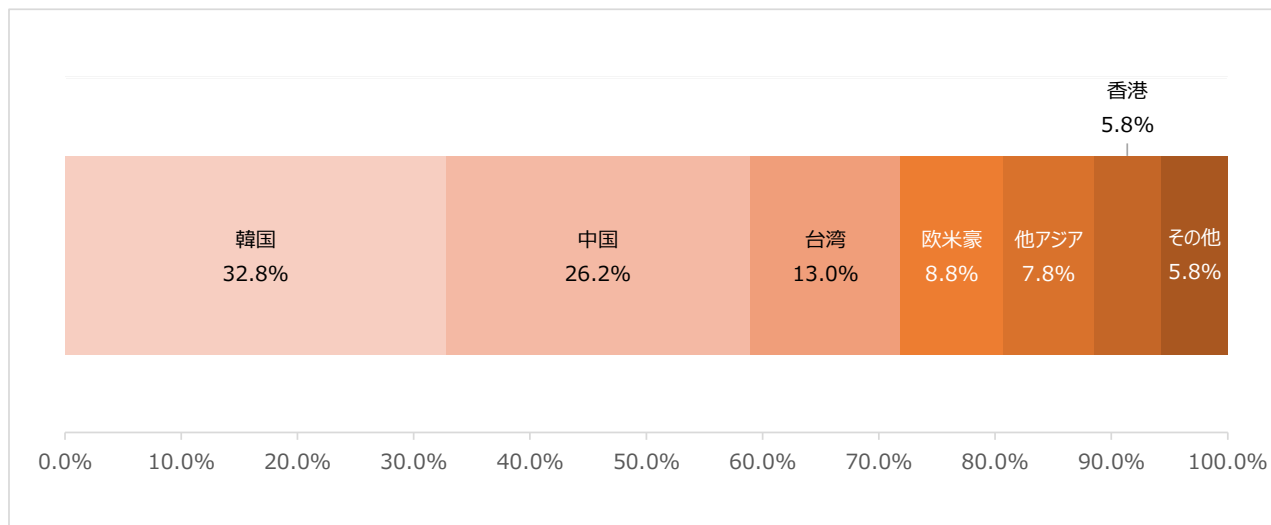


② 都道府県別順位（上位10都道府県）

ランキング	2022年		2023年	
1	熊本県	28,470人	熊本県	20,430人
2	福岡県	25,490人	福岡県	19,011人
3	東京都	5,828人	東京都	7,105人
4	宮崎県	3,798人	鹿児島県	4,000人
5	鹿児島県	3,606人	神奈川県	2,815人
6	大分県	3,153人	宮崎県	2,650人
7	佐賀県	2,557人	大分県	2,555人
8	兵庫県	2,209人	大阪府	2,527人
9	長崎県	2,209人	長崎県	2,319人
10	神奈川県	2,050人	佐賀県	2,021人

2023年2Q 熊本県宿泊旅行統計調査（00.熊本県全体）

9. 国籍（出身地）別外国人延べ宿泊者数構成比（従業者数10人以上の施設）



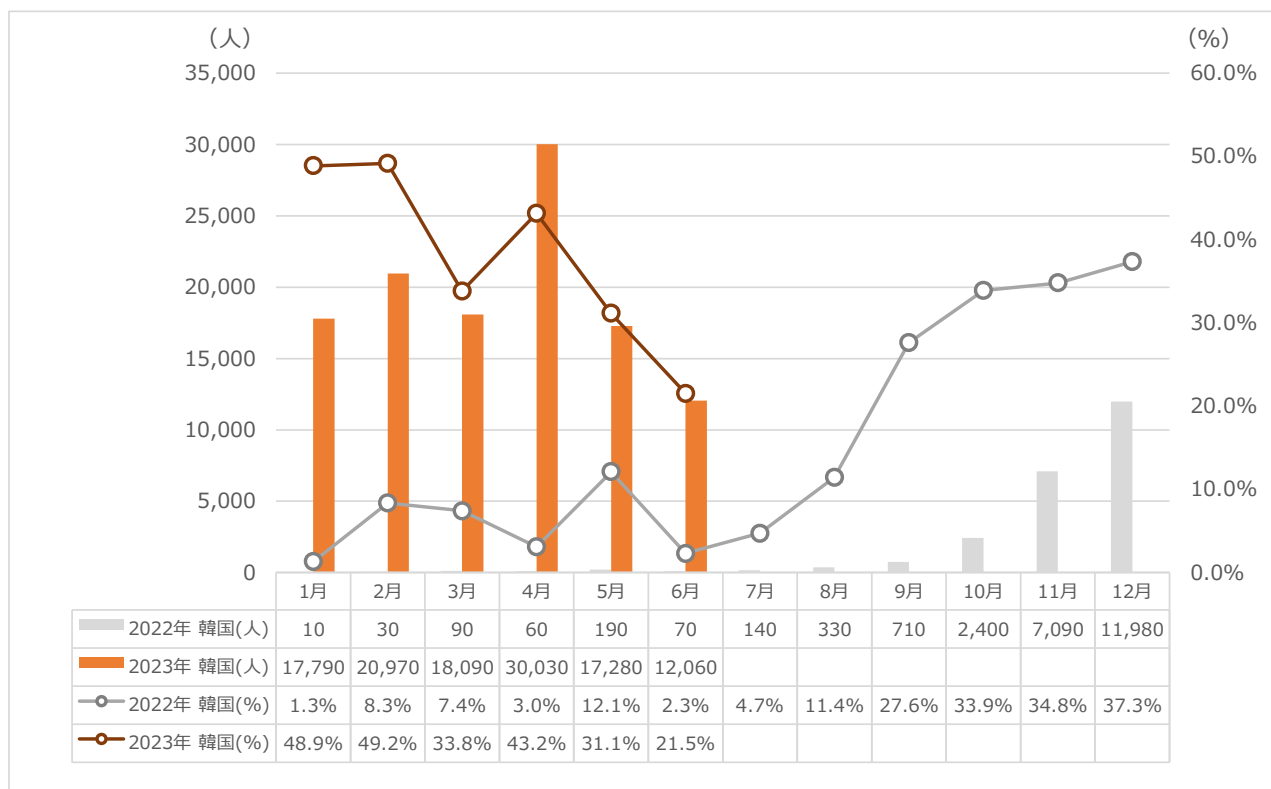
2023年2Qの国籍（出身地）割合は、「韓国」が「32.8%」で最も多く、次いで「中国」が「26.2%」、「台湾」が「13.0%」と続きました。

欧米豪 : アメリカ、カナダ、イギリス、ドイツ、フランス、ロシア、オーストラリア、イタリア、スペイン
 他アジア : シンガポール、タイ、マレーシア、インド、インドネシア、ベトナム、フィリピン
 その他 : 韓国、中国、香港、台湾、欧米豪、他アジア に該当しない国籍（出身地）

10. 国籍（出身地）別外国人延べ宿泊者数・割合（従業者数10人以上の施設）

① 韓国

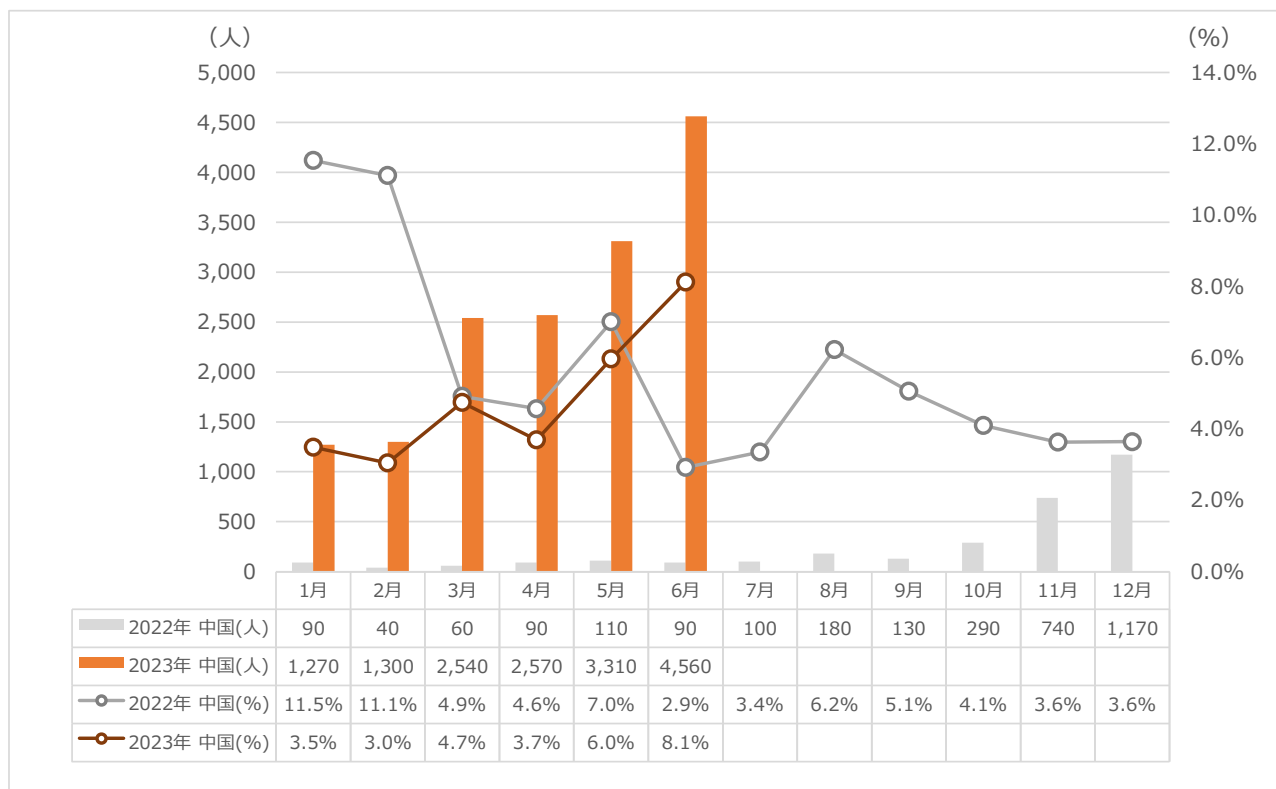
※人＝延べ宿泊者数、％＝国籍割合



2023年2Q 熊本県宿泊旅行統計調査（00.熊本県全体）

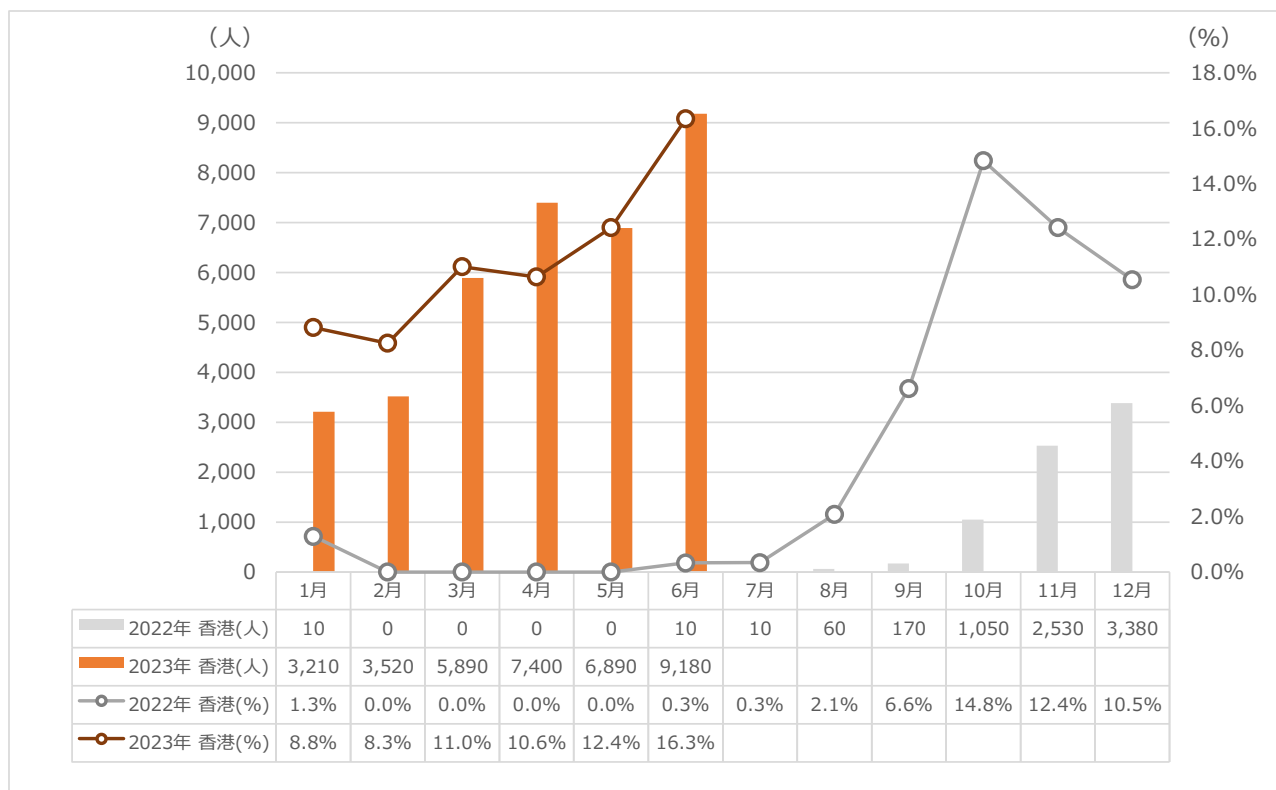
② 中国

※人=延べ宿泊者数、%=国籍割合



③ 香港

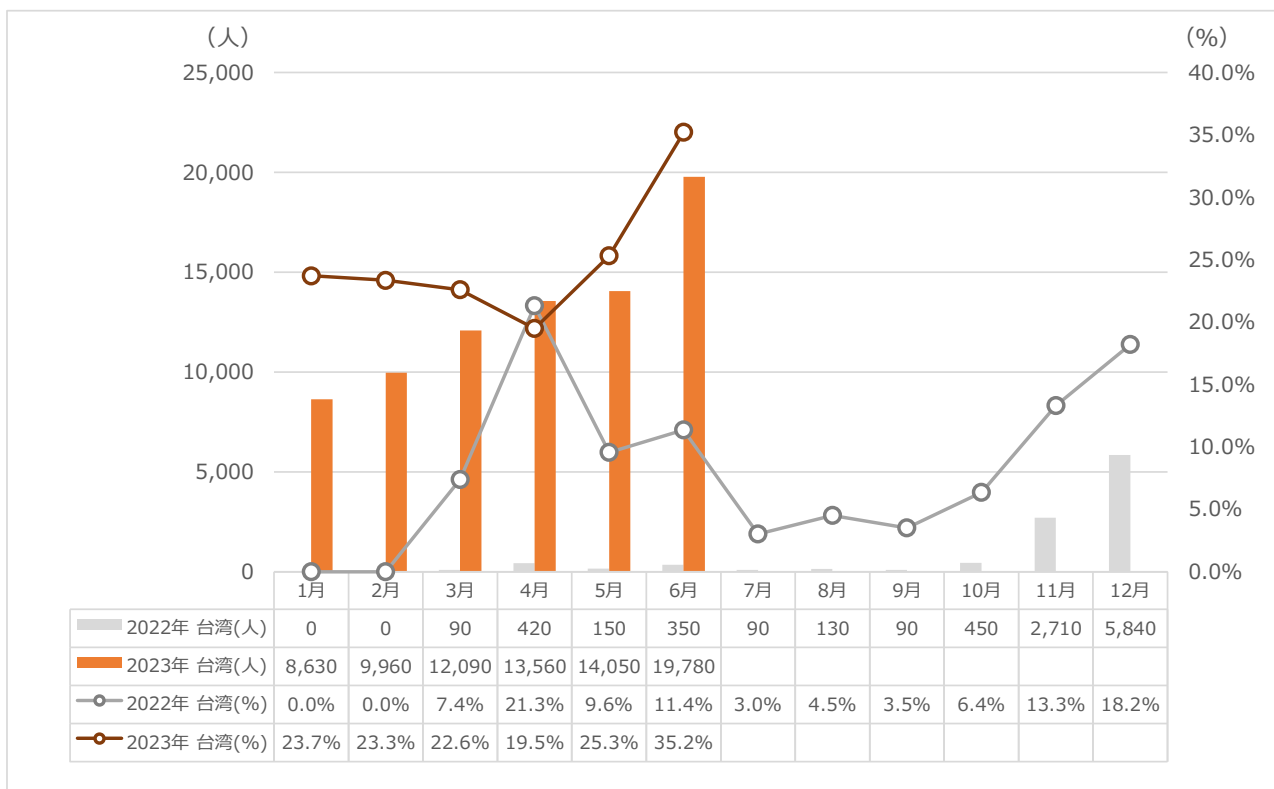
※人=延べ宿泊者数、%=国籍割合



2023年2Q 熊本県宿泊旅行統計調査（00.熊本県全体）

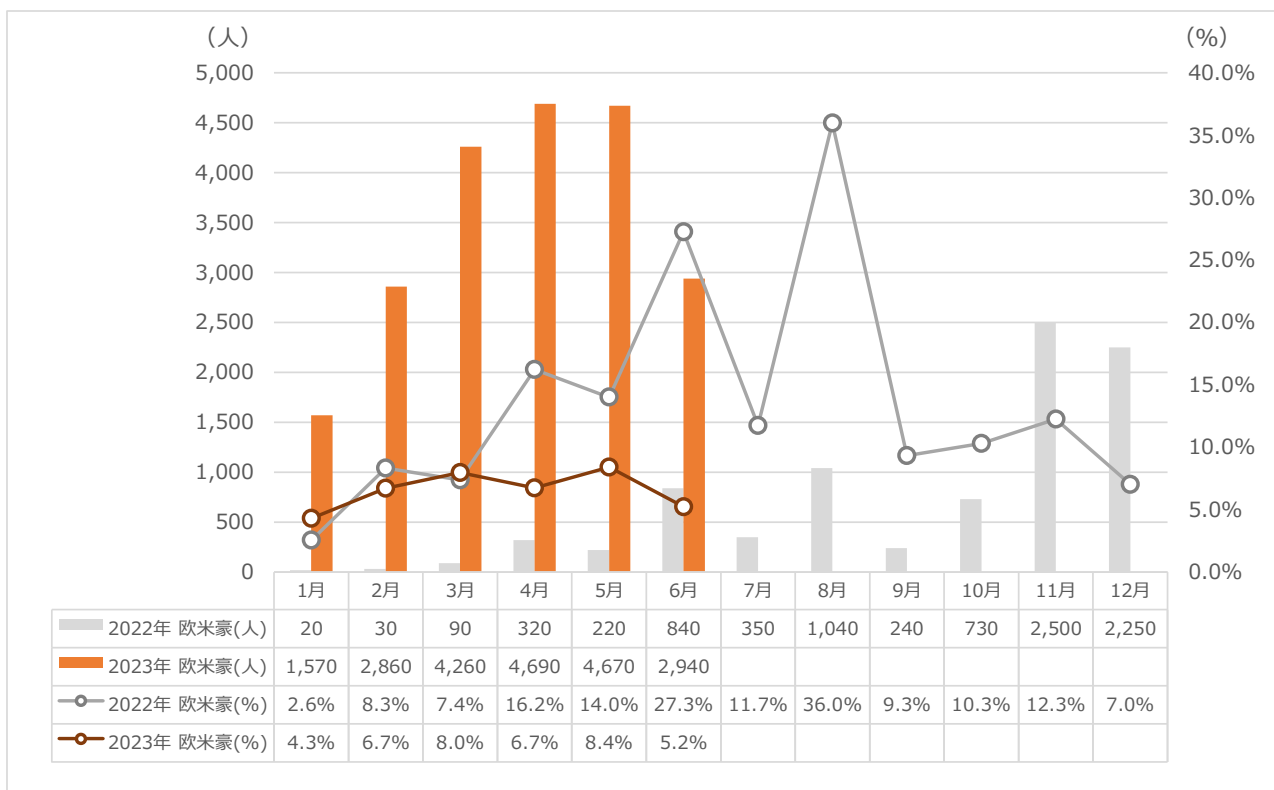
④ 台湾

※人＝延べ宿泊者数、％＝国籍割合



⑤ 欧米豪 … アメリカ、カナダ、イギリス、ドイツ、フランス、ロシア、オーストラリア、イタリア、スペイン

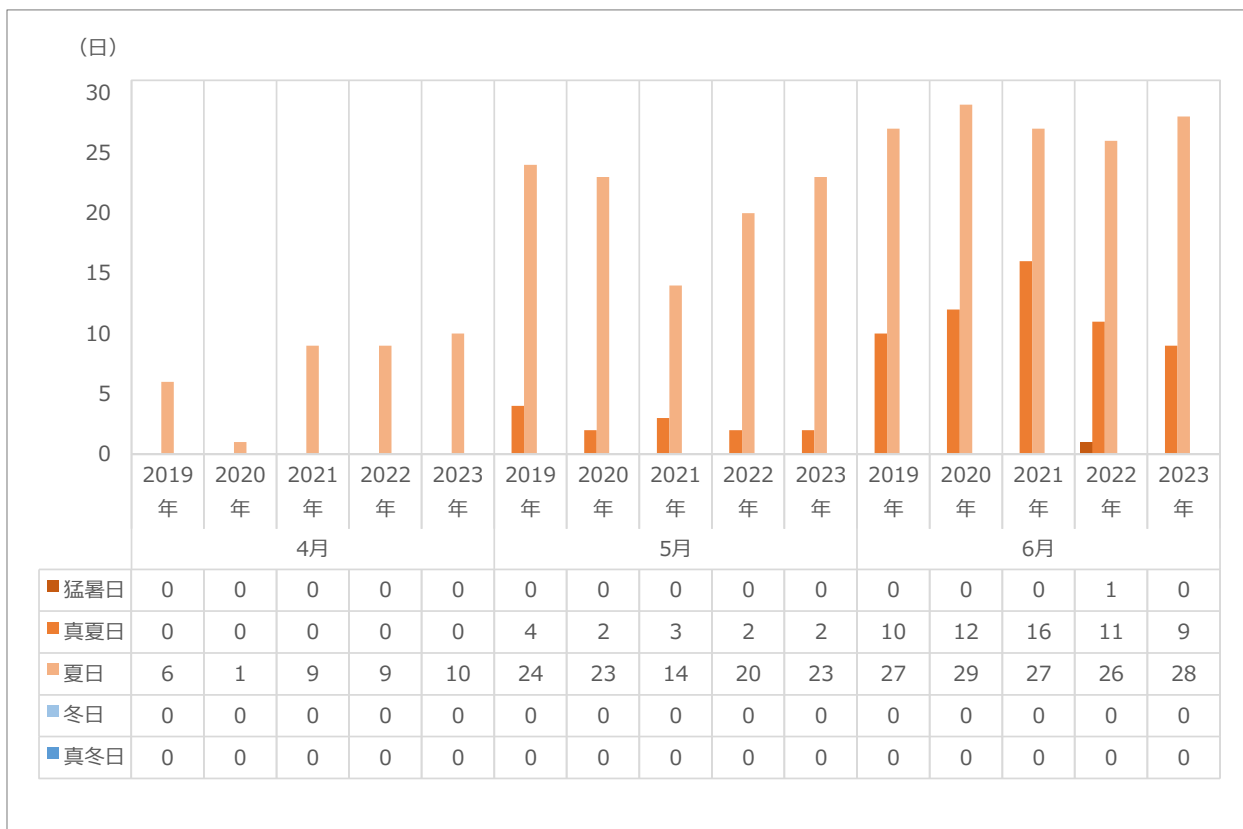
※人＝延べ宿泊者数、％＝国籍割合



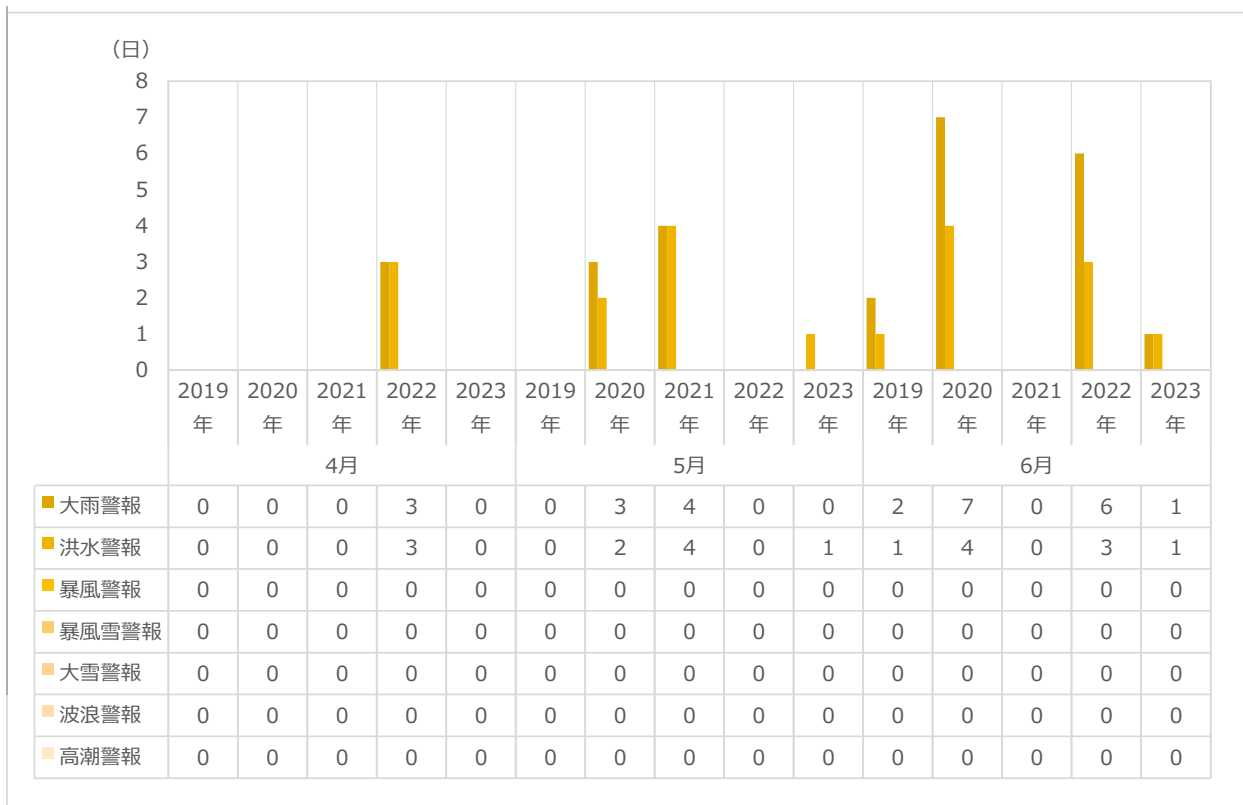
2023年2Q 熊本県宿泊旅行統計調査（00.熊本県全体）

11. 気象情報

① 真冬日・冬日、夏日・真夏日・猛暑日の観測日数（熊本観測所（熊本市））



② 県内警報発令日数



2023年2Q 熊本県宿泊旅行統計調査（00.熊本県全体）

12. 地域のトピックス、観光シーズンの動向など [特記事項がない場合は空欄]

▽ 地域のトピックス ▽

・イオン・シグナ・スポーツ・ユナイテッド、玉名市とサイクルツーリズムの事業拡大を共同推進（2023年4月～）

・益城町の「震災記念公園」が完成（6/18）

・「くまもと再発見の旅（全国版）」実施（エリア：熊本県全域、対象：全国（W）、宿泊期間：2022/10/11～※）

（宿泊施設への直接予約は6/30宿泊分をもって販売終了）

※GW・年末年始を除く

（W）：ワクチン接種証明、もしくは検査による陰性証明が必要

▽ 観光シーズンの動向 ▽

国内の観光需要は、コロナ禍の収束、感染症法での5類移行などコロナ禍前の状況に戻りつつある。ただし、短期的には宿泊助成の縮小など、上昇の材料に欠いた。ゴールデンウィークについても、今年は日並びにより、前半（4/29～30）と後半（5/3～7）の間に平日（5/1～2）を挟む形となった。後半の各日は2018年・2019年に並ぶ水準であったものの、前半～中日の平日は大きく伸びず、期間全体の宿泊者数は2018年・2019年を下回った。一方でインバウンドは、ティーウェイ航空の熊本・ソウル便が3月以降毎日就航となり、また新ターミナル開業後は台湾からのチャーター便も頻繁に運行されている。福岡空港からの流入も含め、外国人延べ宿泊者数は2019年に匹敵する状況が続いている。加えて、半導体工場をはじめとした工事需要やビジネス需要も加わり、5月・6月の延べ宿泊者数は2019年を上回っている。

熊本県宿泊旅行統計調査について

- 本調査は以下を調査結果として表章しています。
 - 延べ宿泊者数、発地別宿泊者数・割合、調査対象施設数、有効回答数・回答率、国籍（出身地）別宿泊者数・割合
観光庁が実施する「宿泊旅行統計調査」の調査票情報の提供を受けて県内11の地域ごとに推計または集計した値
※2018～2021年は確定値、2022年は第2次速報値を採用
 - 気象情報
気象庁および一般財団法人気象業務支援センターが提供するオープンデータをもとに集計した値
 - 地域のトピックス
メディア（TVや新聞など）のデータベースから県内11の地域ごとに観光に関連する情報を収集したもの
 - 観光シーズンの動向
「DATASALAD」（公益財団法人九州経済調査協会）の宿泊稼働状況指数、「観光予報プラットフォーム」（観光予報プラットフォーム推進協議会）の宿泊実績から県内11の地域ごとに動向をまとめたもの
- 推計方法は、標本調査結果を母集団に拡大する「ウェイトバック集計」により県独自で算出しています。
- 調査結果の整合については以下に注意が必要です。
 - 本調査内の数値
端数処理（表記のひとつ下の位で四捨五入）により内訳とその合計に差異が生じることがあります。
国籍（出身地）別は従業者数10人以上の施設を対象とした調査であるため、その合計は外国人延べ宿泊者数と一致しません。
 - 他の同類・類似調査
調査ごとに仕様が異なるため同類・類似調査であっても結果に差異が生じ、その程度は大小さまざまになることが想定されます。
⇒ 仕様：調査の目的や手法、入手する情報やその時期など

*本レポートの対象市町村は「県内全市町村」です。